

世代を超え！社会の枠を超えた！ディスカッションを行いました

～ストップ！気候危機 どうする？所沢のゼロカーボン～

地球環境に学ぶサークル 中原幹男

あなたは“ゆでガエル”かも？

2021年12月5日（日）新所沢公民館にて、地球環境に学ぶサークル・所沢市民ソーラー・所沢の明日を考える市民フォーラム3団体の呼びかけで、Z世代、子育て世代からシニア世代まで、市民、市議会議員、市役所マチごとエコタウン推進課員、事業者（生活クラブ）の6名のスピーカーが集まり、表題テーマについて熱いディスカッションを行いました。

短期間の呼びかけにもかかわらず、ところざわ倶楽部から14名をはじめ、各団体や所沢市民のほか、市外からも環境活動を実践している大学生が参加し、藤本市長も飛び込みで来場、総勢55名の盛会となりました。



Z世代の小出愛菜さんは、気候危機は未来の問題ではなく、根本的に問題を解決するためには社会システムを変える必要がある。大人に応援してほしいのではなく一緒に行動してほしい、と訴えました。



子育て世代の上田マリノさんは、温暖化は止められない。だけどあきらめない。なぜなら私たちは地球で生きるしかないから。シニア世代から学ぶことがたくさんある。シニア世代には「なぜあの時、あの時代にちゃんと行動しなかったのか」と孫世代に言われないように一緒に行動しましょう、と訴えました。

他は、添付のレジメをご覧ください。

この共催3団体は、今回を皮切りに、いち早くゼロカーボンを達成するために、訴え続け行動して行きます。

以上